

1. 第1種委員会：社会人連盟

<p>2023年度の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2023決勝ラウンドを円滑に運営する。 ・県内リーグチーム強化。 ・各種大会の運営力の向上。 ・成年男子チームが鹿児島国体本大会に出場するための強化・指導の取り組みを行う。 ・県1部リーグから関東リーグへのチーム昇格 ・新規チーム数を増やすための取り組み ・登録チーム内のC級・B級指導者を増やす取り組み ・登録チーム内の3級審判員を増やす取り組み (2023年度から1部、2部リーグチームへの帯同義務化) <p><数値目標> 鹿児島国体で成年男子チームがベスト4以上に入る。 登録チーム内の指導者・3級審判員を1名以上増やす</p> <p><スローガン> チーム社会人(1種)の取り組み</p>
<p>2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等 (*新規事業も含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会の運営 ・関東リーグチームとの連携による国体チーム及び県内チームの強化 ・MC資格保有役員はマッチコミッショナーを2試合以上担当する。 ・県協会・他種別と共同で事業を実施し新規・継続選手数を増やす。 ・トーナメント大会参加数継続のためのサポート活動 ・県内上位リーグから指導者・3級審判員を増やす活動を実施する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し安全な大会運営を行う。 ・国体成年男子チームの強化練習会を月に1回以上行う。
<p>目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国社会人サッカー選手権大会関東予選 ・全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2023決勝ラウンド ・県内トーナメント大会・リーグ戦 ・J2・関東リーグチームとの連携・協力 ・栃木シティ学園(シティーフットボールアカデミー)との連携・協力

2. 第2種委員会：高校連盟

2023年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高校サッカーの活性化（男女） ・本県代表校の活躍（男女） ・栃木県ユースサッカーリーグU-18の活性化 <p><数値目標> 部員数 3,000人 関東大会・全国大会優勝</p> <p><スローガン> サッカー環境の整備（気持ちよくサッカーができるように）</p>
2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等（*新規事業も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理体制の充実 ・全国高校サッカー選手権大会栃木大会 ・審判員の充実 ・栃木県ユースサッカーリーグU-18の改善 ・本県代表の関東・全国大会入賞 ・プレミアリーグ・関東プリンスリーグへの参入
目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名	<ul style="list-style-type: none"> ・審判研修会及び講習会の開催 ・各大会の試合途中経過・結果速報 ・各大会における技術・記録係等の研修 ・本県代表の全国大会入賞及び関東プリンス運営の協力体制づくり ・ユース審判員の育成及び活用

3. 第3種委員会：中学連盟

2023年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・競技環境の充実 ・指導者の質の向上 <p><数値目標></p> <ol style="list-style-type: none"> ① U-15リーグに90%以上のチームの参加 ② 公認A級、B級、C級コーチおよびインストラクター養成講習会への参加5名以上 ③ M4による指導者講習会への参加率85%以上 ④ マッチコミッショナー・ウェルフェアオフィサーの10名以上の養成 <p><スローガン> より良い育成環境を目指して</p>
2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等（*新規事業も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・リーグ戦を軸とした年間カレンダーの見直しとリーグ再編 ・指導者養成事業及び指導者研修 ・各種大会レギュレーションの見直し
目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名	<ul style="list-style-type: none"> ・U-15リーグ (1部リーグ・2部リーグ・3部リーグ・4部リーグ) ・公認A級、B級、C級コーチおよびインストラクター養成講習会 ・各地区での指導者講習会 ・マッチコミッショナー・ウェルフェアオフィサー養成講習会

4. 第4種委員会：少年連盟

2023年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・選手登録人数の増加 ・競技環境の充実 ・指導者の質の向上 <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 選手登録人数 10%増加 ② 関東大会ベスト4以上、全国大会ベスト8以上 ③ 暴力・暴言ゼロ <p><スローガン></p> <p style="text-align: center;">「フェアで強い」栃木サッカーを目指して</p>
2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等 (*新規事業も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・女子選手、低学年選手の登録推進事業 ・県リーグ(U12)、地域リーグ(U12/U11/U10)の充実 ・指導者養成事業及び指導者研修事業 ・審判員養成事業及び審判員研修事業
目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名	<ul style="list-style-type: none"> ・女子交流事業、キッズ年代交流事業との連携 ・地域U11リーグの開催 ・公認ABC級コーチ及びインストラクター養成講習会 ・3級審判員昇格研修会 ・地区指導者講習会 ・地区審判員講習会 ・ウェルフェアオフィサー養成講習会 ・クラブウェルフェアオフィサー講習会

5. 女子委員会：女子連盟

2023年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トレセン制度の充実・強化 ・競技人口の拡大 ・指導者の育成 ・女性審判、ユース審判の育成 3級新規審判員の発掘 ・JFA 普及コーディネーターの活用 ・ゲーム環境の整備(特にU-15, 18 および県リーグ) レフリーインストラクターの必要性 <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技人口 50 名増 ・女性指導者 D 級 10 名・C 級 10 名増 ・女性 2 級審判員 1 名、3 級審判員 5 名増 ・なでしこひろば開催団体 3 団体増 <p><スローガン> 未来に繋げる！</p>
2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等 (*新規事業も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・U-13~16 トレセン活動の充実・強化 国体少年女子選抜チームの強化 国体成年女子選抜の強化策再構築 ・普及事業 グラスルーツ委員会との連携強化を図り、登録人口増を目指す ・審判トレセンの充実と底辺拡大 県リーグ等を利用して審判トレセンの充実を図る。ユース審判を含めた底辺の拡大 ・新規MCの発掘 審判インストラクターの発掘
目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名	<ul style="list-style-type: none"> ・トレセン女子 U-13~16 ・U-12 女子トレセンとの連携 ・審判トレセン

6. クラブユース連盟

2023年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関東リーグへの進出(各年代別強化) ・帯同審判の質の向上 ・関東大会(クラブ選手権・高円宮杯・challenge Cup) ベスト 8 ・全国大会(クラブ選手権・高円宮杯) への出場 <p><数値目標></p> <p>関東大会でのベスト 8 以上 全国大会への出場</p> <p><スローガン></p> <p style="text-align: center;">未来を担う選手たちと共に！ (高めあい・競い合い・認め合う)</p>
2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等 (*新規事業も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・U-15 リーグを含め U-14 の強化 ・リーグ戦・ベスト 8 までの帯同審判の向上 ・U-15. 13 リーグの強化
目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名	<ul style="list-style-type: none"> ・U-15 リーグ・U-13 リーグ(関東・県) ・帯同審判の講習会(2024 年度までに各チーム 3 級 1 名の帯同)

7. シニア委員会：シニア連盟

2023年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア連盟の組織化（各年代） ・未登録チームの登録及び参加 ・選手の協会登録強化（各年代） ・関東大会の大会運営 ・関東予選会を突破し全国大会出場を目指す <p><数値目標> 各年代（0-40・0-50・0-60・0-70）の全国大会出場 各年代の登録選手の増加</p> <p><スローガン> 各年代での関東大会を突破し全国大会出場</p>
2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等（*新規事業も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア委員会の組織の強化 ・シニアリーグの活性（各年代40、50、60、70） ・JFA第24回全日本0-60サッカー大会関東予選会の開催、大会運営 ・シニアチームの各年代の関東予選会の突破し全国大会出場を目指す。
目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア委員会の各年代役員メンバー選出 ・県シニアサッカー選手権大会（0-40, 0-50, 0-60）5月、7月 ・県シニアサッカーリーグ（0-40, 0-50, 0-60）4月～3月 ・JFA第24回全日本0-60サッカー大会関東予選会の開催 11月

8. 技術強化委員会

2023年度の活動目標	<p>1 Post 国体+10年として、あらゆる事業の見直しと再生・強化 2 スローガンを達成するための具体的対策の検討・始動 3 技術強化委員会の充実及び他委員会との連携</p> <p><数値目標></p> <p><スローガン> 栃木からA代表選手を！また、各カテゴリー代表選手を！ 全てのカテゴリーにおけるリーグ戦にて関東Aクラスに！</p>
2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等 (*新規事業も含む)	<p>「1」に関して</p> <p>① 選手強化策 i 女子の育成・強化策の充実 ii 成年男子・成年女子：交互開催に関する育成指針の策定 iii 少年男子・少年女子：下位カテゴリーから強化策</p> <p>② 指導者養成事業対策 i 指導者の発掘 ii 県内養成講習会の充実 iii 重点カテゴリーの指定と指導者養成のサポート</p> <p>③ 海外遠征の再開（行政による感染症対策や海外における感染症状況を鑑みながら） i 新たな海外遠征指針を策定（実施不可の場合の代替案） ii 海外遠征実行委員会の充実</p> <p>④ 中学校部活動改革に伴う選手の育成の充実 i 中体連トレセンの在り方について再考</p> <p>「2」に関して</p> <p>① トレセン事業の見直し（カテゴリーも含めて） i トレセンの「質的」向上及びコーチの適正配置 現在のトレセンに関する問題点を総点検し、現状に見合った実施方法を再検討する（'24完全実施に向けて）。 ii 効果的な下位カテゴリーからの育成・強化策の見直し iii TSGの充実及びトレセン等の諸活動への還元</p> <p>「3」に関して</p> <p>① 「2-①」ともリンクするが、技術強化委員会の組織図を新たに作成し、スローガン目標達成のために新たに【TSG】部所を開設する。ここでは単なる試合分析や情報の還元にとどまらず、県内トレセン選手のデータベース化や新たな才能の発掘を行う。</p> <p>② 「2-①-ii」における連携強化を図ることで「質的」向上を目指す。</p>
目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名	<ul style="list-style-type: none"> ・トレセン事業 ・指導者養成事業 ・海外遠征またはそれに代わる遠征機会の創出

9. フットサル委員会：フットサル連盟

<p>2023年度の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関東リーグへの進出 ・全国大会への出場 ・フットサルの普及 ・審判員の養成 ・会場の確保 <p><数値目標> 関東リーグへの進出（関東2部、関東女子） 各カテゴリーでの全国大会出場</p> <p><スローガン> 栃木のフットサルの競技力の向上と普及・振興</p>
<p>2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等 （*新規事業も含む）</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①男女栃木県リーグの競技の充実 ②各年代におけるフットサル大会の運営の充実 ③U-23年代以下の育成・強化 ④普及事業の情報の発信の工夫と促進（県協会HP等で） <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーフットサルフェスティバル ・オープンフットサル大会 ・施設交流大会 ⑤県内におけるフットサルのPR（県協会HP等で） ⑥審判員の育成 ⑦新規役員の発掘、育成と組織の充実 ⑧全国大会の運営（U-15、地域女子CL、大学CL）
<p>目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①栃木県フットサルリーグ ②全日本フットサル選手権栃木県大会 ③全国選抜フットサル大会 ④栃木県女子フットサルリーグ ⑤全日本女子フットサル選手権大会栃木県大会 ⑥全国女子選抜フットサル大会 ⑦年代別各カテゴリー（大学、U-18、U-15、U-12）のフットサル大会 ⑧各種普及イベントの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーフットサルの開催 ・オープンフットサル大会（エンジョイリーグ） ・施設交流大会 ⑨審判講習会の実施

10. 審判委員会

<p>2023年度の活動目標</p>	<p>①審判員の増員、レベルアップを図る。また、実働の審判員だけでなく、インストラクターを中心に大会を運営できるスタッフの育成を目指す。</p> <p>②審判トレセンは毎月1回第3日曜日に固定し実施する。講義形式だけでなく、実技研修（プラクティカルトレーニング）を実施する。</p> <p>③スタートアップセンターを実施し、その場を3級インストラクターの活躍の場としても有効に活用し、指導者の資質向上、審判員の底辺の拡大・底上げを目指す。</p> <p>④コロナ対策として種別毎にWebで講習会を実施し、3級審判員を育成する。</p> <p>⑤大学生を対象とする講習会を継続する。</p> <p>⑥他県との交流を深める。</p> <p><数値目標></p> <p>①審判員登録数増員目標 2級：5名（女子含む）、3級：20名（女子含む）、女子2級：2名、3級：5名の増員を図る</p> <p>②4級：4700名、フットサル：600名、女子審判員：300名を目標に育成する。（中期、長期）</p> <p><スローガン></p> <p>THE CHALLENGE TO REFEREE FRIEND'S DREAM (審判仲間の夢への挑戦) 十河</p>
<p>2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等 （*新規事業も含む）</p>	<p>（1種）</p> <p>①3級審判員の拡大 県社会人リーグ参加チームから3級審判員を増やし、チーム登録審判員のレベルアップを図る。</p> <p>②over 40 審判員研修会の実施 over 40 審判員を対象にした実技研修会を開催して技術向上を図る。</p> <p>③3級インストラクターの新規増員 チーム登録審判員及び派遣審判員への助言・指導の機会を増やす。</p> <p>（2種）</p> <p>①4級ユース審判員の資格取得・更新の定着を図る。</p> <p>②ユース審判員の育成を充実させる。（特にユース3級審判員の増加と育成を図る）</p> <p>③若手顧問の指導・育成を図る。</p> <p>（3種）</p> <p>①審判研修会の充実（トレセンマッチデーの活用）</p> <p>②主審技能の向上を図る</p> <p>③ユース審判員の育成（取得と活動機会の提供）</p> <p>④各地区への審判指導者の派遣（新任顧問、部活動指導員、帯同の保護者等への指導を行う）</p> <p>（4種）</p> <p>①3級審判員の増員と育成を図る。</p> <p>②3級インストラクターの活動機会の充実を図る。</p> <p>③他種別でも活動できる派遣審判員の増員を図る。</p> <p>（女子）</p> <p>①県リーグ、U-15 リーグ参加チームから3級審判員を増員させ、リーグ全体のレベルアップを図る。</p> <p>②ユース（U-18、U-15）年代の審判員増員と育成。</p>

③3級審判向け競技規則研修会、実技研修会の実施。

④公式戦決勝を女子審判員4名で実施。

(シニア)

①各チームに、審判資格取得者を4名以上確保する。そのうち、1名以上3級以上の審判員を確保する。

②シニアの各カテゴリー(0-40から0-60まで)において、最新のルールを正しく理解させ、本県開催関東大会の審判割当を実施。

(クラブ)

①派遣審判員として活動できる人材を発掘する。

②中体連と合同の3級認定講習会を開催し、3級審判を育成する。

③新しくクラブで活動を始める4級審判員のレベルアップを図るため、指導育成を行う。

④各チーム、帯同の3級審判員を準備する。

(フットサル)

①実働審判員の確保

②フットサル審判員の能力向上

③上級審判員候補の発掘

(指導・育成・インストラクター)

①3級審判員育成プログラムの定着化

②2級審判員昇級候補者の強化

③審判トレセンによる派遣審判員の強化・育成

④3級審判員フォローアップ研修の実施

⑤3級審判インストラクター強化研修会の実施

⑥kick offシステムでのアセッサー割当の実施

⑦レフェリースタートアップセンターによる4級審判員育成

⑧審判インストラクタートレセンの実施

(割当部)

①kickoffサイトの継続的有効活用

インターネットやスマートフォン等を活用して審判員、インストラクターのスケジュール情報を共有し、効率の良い審判割当、アセッサー割当を行う。

kick offシステムでの審判割当、また必要事項を送信する。(健康チェックシートや連絡事項など)

kick offシステムでのアセッサー割当を検討する。(一部試合)

kick offシステムで栃木県内の2・3級審判員に派遣協力調査を行い、派遣審判員を登録制度化するように検討する。

②各種別の連携強化

種別の垣根を越えて協力し、様々な種別に派遣することで審判員のレベルアップに貢献する。

また、派遣審判員を対象とした研修会を開催し一体感をもって底上げする。今年度より開幕前研修会を審判トレセンの位置づけで栃木県内の審判員に参加を促す。

③在野の審判員の発掘

級に関係なく派遣審判員を目指す人材の発掘、育成をする。

(スタートアップセンターを軸に4級を底上げできるようにし、県内でアクティブに活動できる人材を増やす活動を行う。)

県協会ホームページに掲載し、幅広く宣伝できるように周知する。

Kickoffシステムを使用して県内の4級審判員に直接、スタートアップセンターの案内を送信して参加者を増やす。

Kickoffシステムを使用して栃木県内の2・3級審判員に直接アプローチしてサッカーの審判員協力を促す。また、各種別と連携

し、派遣審判員の増員を図る。

また、各種別からも積極的に活動したい方を呼びかけるようお願いをする。

(登録部)

講習会の申込方法など、KICKOFFサイトの利用方法に関わるわかりやすい資料を作成しHPに掲載する。

目標達成に向けて取り組む事業又は競技会名

(1種)

- ①チーム審判員を対象にした3級昇格講習会を実施する。
- ②自治体職員サッカー大会を用いover 40審判員を対象にした研修会を開催する。
- ③3級候補者を対象に競技規則や技能の向上を図る育成研修会を開催する。

(2種)

- ①ユース審判員
 - ・ユース審判員の上級資格取得の環境整備を行う。(3級取得講習会をオンラインで実施する)
 - ・ユース審判員の上位大会(JFA U-12やインターハイ)への派遣
 - ・4級取得講習会を中部・北部・南部で行う。4級更新については、e-ラーニングを中心とし更新不備とならないような情報を提供する。
- ②顧問
 - ・若手顧問を第2種の試合において積極的に割当して指導する。
 - ・若手顧問を指導して、2級審判員や3級審判員に昇級させる。

(3種)

- ①審判研修会の充実
 - ・10月ー中学校県新人大会最終日
 - ・12月ー下野杯中学生サッカー大会ベスト16の8試合
 - ・3月ー東日本中学生マロニエフェスティバルへの協力(他種別との交流を含めて)
 - ・トレセンマッチデーへのインストラクターの派遣
 - ・オンラインを活用しての3級審判養成講習会の実施
 - ・地区担当者との連携強化(オンラインの活用)
- ②主審技能の向上を図る
 - ・他種別の審判員との交流を推進する。
 - ・トレセンマッチデーに3種インストラクター資格保有者を派遣し、指導を行い、技能の向上を目指す。
- ③ユース審判員の育成(取得と活動機会の提供)
 - ・トレセンマッチデーや下野杯の副審等、活動機会の提供
- ④各地区への審判指導者の派遣(新任顧問、部活動指導員、帯同の保護者等への指導を行う)
 - ・中学校部活動改革に伴い、教員以外の部活顧問や審判員への対応として、必要に応じて指導者を派遣する。

(4種)

- ①審判研修会の計画的実施
 - ・実技指導者研修会(各地区審判アドバイザー)
 - ・3級審判員研修会(3級審判員のうち希望者)
 - ・3級昇格に向けた研修会(3級昇格希望者)
- ②インストラクターによる指導・研修の場の拡充
 - ・県トップリーグ
 - ・新規4級審判資格取得講習会(実技指導)
 - ・3級昇格実技審査
- ③派遣審判員リストの作成と割当部との連携強化
 - ・各種県大会の割当・他種別との連携
 - ・所属審判員への研修関係の情報伝達、参加啓発

(女子)

- ①ユース審判員の育成
 - ・5月4級新規取得講習会の実施(県央・県南・県北)
 - ・高体連女子、クラブチームと連携を図り、リーグ戦に於いての

実践と継続的な指導

② 研修会の充実

- ・新規3級取得WEB講習会の実施
- ・3級取得者向けルール講習会の実施

③女子公式戦決勝4名女子で実施

(シニア)

① 審判の取得・更新を積極的に図る。

- ・シニア主催新規4級審判資格取得講習会の実施
- ・登録チームに、審判員の確保を促す。

② 本県開催関東大会の審判割当

- ・シニア委員会での研修（最新ルール解説、派遣協力依頼）
- ・リーグ戦や選手権大会での実技研修
- ・3級審判員の育成

(クラブ)

①派遣審判員として活動できる人材及び3級を目指す審判員を
発掘し、指導育成する。(各チーム3級審判員帯同への推進)

- ・日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会栃木県大会
- ・栃木県U15・13リーグ
- ・高円宮杯日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会
栃木県大会
- ・3種リーグチャンピオンシップ
- ・下野杯争奪県下中学生サッカー選手権大会
- ・他 各種別各大会

②3年目となる中体連と合同の3級認定講習会を開催し、3級
審判を育成し審判の活性化を図る。

③U-13リーグ等で、4種からラブで審判活動を始める4級審判員
のレベルアップを図るため、計画的に指導活動を行う。

④全チームで帯同の3級審判員を準備し、リーグ運営を適切に
行い、各種大会の派遣審判をクラブ内で対応する。

(フットサル)

①各種(県・地区大会)大会帯同審判員へのアプローチ

各種大会帯同審判員への技術指導

F4審判員への競技特有のルールや審判方法

審判をする上での困りごとについての情報提供

②県リーグ担当審判員の主審技量の向上

担当審判員研修会、他県リーグ・審判交流等を通じての
競技知識の向上

各種大会におけるインストラクターによる実技指導

③F3昇級の為の育成コースの受講者の増員

F2昇級候補者の育成

F4活動情報調査結果(2022年12月実施済)における昇級希望
者へのアプローチ及びフィットネステスト試験方法などの
情報提供

(指導・育成・インストラクター)

①3級審判員育成プログラムの各種別での実施。

②2級審判員昇級候補者に対し、アドバイザーを配置し、アセッ
サーを定期的に派遣する。

③派遣審判員として活動する3級審判員の増加を目指し、3級取得
後1,2年目の審判員を対象としたフォローアップ研修会を実施する。

④3級審判員を中心に実技研修会の参加審判員を広く募り、派遣
審判員の増加を図る。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">⑤ 審判インストラクターに対し、新アセスメント様式によるレベル合わせ研修会を複数回実施する。⑥ 2級審判インストラクター昇格候補者の強化研修として、SI3強化研修会を定期的実施する。⑦ 割当部、各種別及び各部と連携を図り、kick offシステムによるアセッサーの早期割当てに努め、強化対象審判員の継続的指導を実施する。⑧ 経験の浅い3級・4級審判員の育成研修の場として、レフェリースタートアップセンターを継続開催する。⑨ 派遣審判員として活動する2・3級審判員の研修の場として、審判トレセンを継続開催する。⑩ 審判インストラクターの質的向上を図るためにインストラクタートレセンを実施する。 |
|--|--|

1.1. グラスルーツ委員会

<p>2023年度の活動目標</p>	<p>〈全体〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各連盟や委員会、種別を超えて多くの人が関わり普及事業を提供するための組織基盤の整理と強化 ・未登録者の普及事業への参加者数の増加 ・巡回指導→フェスティバル→登録拡大推進に繋げる事業の構築 ・関わるスタッフの発掘（巡回指導、フェスティバル等） ・いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催地区との連携（レガシープログラム検討） ・行政との連携（ウォーキングフットボール推進＝健康事業推進） <p>〈フェスティバル〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区キッズフェスティバルの内容の充実（未登録者対象や親子サッカー等の提案） ・種別間の連携（地区のチーム紹介や課題克服のための施策） ・障がい者サッカーフェスティバルの認知度向上 <p>〈キッズリーダー養成講習会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7地区（4種地区割）開催、女性対象の開催 ・講習会や研修会の開催（障がい者サッカーを理解する内容、巡回指導員やキッズリーダーチューター、キッズリーダー等の有資格者の自己研鑽） <p>〈なでしこひろば〉※登録拡大推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とちぎフットボールセンターを活用したなでしこひろばの開催継続と県内各地域で実施のなでしこひろばとの連携と拡充のサポート <p>〈女子サッカーデー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての世代が楽しめる企画と同時に女子サッカーの認知度を上げる工夫
<p>2023年度特に力を入れて取り組むポイント又は事業等（*新規事業も含む）</p>	<p>〈数値目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー未登録者「延べ500人」のフェスティバル参加 ・キッズリーダー講習会の開催（8コース、160名） ・キッズ巡回指導360回 ・講習会・研修会等の開催（2回） ・なでしこひろばの開催（通年）※登録拡大推進事業 <p>〈スローガン〉</p> <p>・ 栃木サッカーの発展はグラスルーツから ～だれもがサッカーの楽しさに触れられるように～ ～地域で繋がるサッカーファミリー～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JFAキッズフェスティバル7地区開催（未登録者対象） ・地区キッズフェスティバル（内容の工夫⇒キッズアカデミーとのすみ分け⇒各種別へ繋げる） ・なでしこひろばの継続～発展（女子の小・中学生の登録者数増に繋げる、レベル別の開催検討やチーム紹介等） ・フェスティバルに関わるスタッフの発掘（地区の種別間連携） ・障がい者サッカーの理解者を増やす ・いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会レガシープログラムとして開催地区との連携による普及活動（ファミリーウォーキングフットボール等の普及推進）

<p>目標達成に向けて取り組む事業 又は競技会名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ J F A キッズサッカーフェスティバル ・ J F A レディースガールズフェスティバル ・ J F A 女子サッカーデー ・ 障がい者サッカーフェスティバル ・ キッズ巡回指導 ・ キッズリーダー養成講習会、その他講習会 ・ 地区キッズサッカーフェスティバル ・ なでしこひろば（通年） ・ 障がい者サッカーフェスティバル（3回） ・ 多種別連携事業
----------------------------------	--